

平成30年度(第3回)認定「とよた世間遺産」一覧

認定通番	種別	名称	所在地	推薦理由・物語	評価理由	コメント	申込通番
1	モノ	旧廣梅橋橋の石造物群	西広瀬町・東広瀬町	昭和6年9月に改築された廣梅橋の親柱など8本が、当時の幅員約4mを再現(現在は13m)し、保存されている。不要になった石造物を遺した地元の熱意が素晴らしい。	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	架け替えられた旧の橋の親柱が残されているところは多くあるが、道幅まで再現しているところは少ない。また、廣梅橋はもともと東広瀬にあった梅村酒造の当主の寄付によって架けられた橋でもあり、地元の方々の橋に対する思いも現れているようで興味深い。また、橋の名前の由来ともなった梅村源次郎氏の顕彰碑も認定範囲に含める。	2
2	ヒト	食劇戦隊啓発レンジャー 若杉理恵	高美町	劇団カレイドスコープの代表として啓発劇を行い、防犯など市民の方々に分かりやすく伝えている。また、地域講師として小学校での読み聞かせや、クッキングクラブ等で子どもたちの情操教育や食育	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	その存在は迫力があり、活発な活動を展開しているところがオモシロい。自分が目指す事柄を自らの考えと行動で表現していくオモシロい人たちは、世間遺産の対象として注目して	4
3	コト	足助屋敷の寒茶	足助町	煎茶とは異なる煮出して飲むお茶。独特の香りと味があり、昔は農作業等の際にやかんに入れて持って行ったという。足助屋敷で昔ながらの製法で作られている。	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	独特の風味がある寒茶が、茶葉の採取から蒸し・乾燥の製法と提供まで、山里の食文化の一つとして継続されている活動という意味で世間遺産的。参集足助屋敷で製品の販売もされているが、モノではなくコトとして認定する。	9
4	モノ	道慈山観音寺の千頭絵馬	千洗町	千頭の馬が描かれた大きな絵馬。大正時代に奉納されている。	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	千匹絵馬は、中馬街道にもつながる旭地区の小馬寺に奉納された市指定文化財の絵馬が市内では代表的なものだが、小原地区にも同様の絵馬が大正時代に掲げられたことは、地域を知るうえで大変興味深い。文化財的(真面目)に過ぎて少しオモシロみに欠けるが、地域の自慢として認定。	13
5	コト	矢作川の「カッパ」	市内	矢作川、というよりは矢作川に関する行事に出没するカッパ。主に陸地で活動している。「着ぐるみ」的ではなく、生身に近い。	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	矢作川愛が人の体からあふれて形になってしまったカッパの姿。矢作川に興味を持ってもらうための姿であり、矢作川うや矢作川水族館に関するイベント時には発見される可能性も高く、誉め言葉として単純にバカバカしくオモシロい。妖怪の姿であるため、ヒトではなくコトとして認定。	14
6	モノ	家康伝説 烏帽子岩	水間町	石と口の徳川家康が、寺部城攻めの際にこの石の上で指揮をしたとの伝承もある「烏帽子」の形をした岩。形も面白いけれど、若い家康がこの岩から軍勢を指揮していたと思いきや、この地域の歴史を考えるうえで楽しいと思いま	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	自然物ではあるが、伝説という形で地域にゆかりのある物語が紐づけられており、説明看板が立てられて地元の方々が大事にしている様子もあるため、認定。	15
7	モノ	人造石工法の水制(大出し)	扶桑町	扶桑の水辺公園近くにある水制工。人造石工法(たたき技法の応用)で造られているので、川下にある百々貯木場と同時期の大正時代に造られたのではないかと考えられます。「出し」とは、川の流れの勢いを緩和して護岸するために川に突き出して造られるもので、ここには江戸時代の絵図にも出しがあったことが確認されています。同じ位置に大正時代に人造石工法で水制が築かれ、その上には水難事故で亡くなった方の慰霊のための地藏石像が建てられています。	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	百々貯木場と同じ人造石工法で造られた構造物で、矢作川の治水利水、昔話に関係づけられるものとして現在でも見られるのは興味深い。	17
8	モノ	旧枝下用水遺構群	枝下町ほか	2年前には敷が広がるばかりだった旧枝下用水第二樋門への道。先人たちの作った枝下用水遺構群を保全しようと、豊田土地改良区と資料室が中心となり清掃活動をスタート。12月10日、第8回を実施。枝下町はじめ地元の方々も参加し、その活動の輪が広がっていることに感動しています。旧枝下用水遺構群は、その歴史的価値とともに「とよたの高千穂峡」ともいえる美しい景色です。	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	人造石工法の構造物として、また歴史的な価値を持つ枝下用水の遺構が独特の景観を形成している。越戸ダム貯水のため大部分が沈んでいるが、そのことがさらに矢作川の利水を考えることと、景観の秘境感を演出し、オモシロい。遺構を守り伝えていく地元の方々などの活動もあることから遺産に認定。	18
9	モノ	津島神社の繭型灯籠	扶桑町	地元の養蚕組合が奉納した「繭」の形をした珍しい灯籠。 ・石灯籠に刻まれた柴田美代作は「繭糸商 マルカ 柴田美代作 拳母町柴田商店 電話1番」と明治45年発行の商工名鑑に記載があります。(『拳母資料編』p76より) ・「古盛社」は、明治30年1月、高橋地区で6番目に設立の平井上切区域の養蚕組合。大正10年度の収繭量では5,795貫、全国に先駆けて組織された鬼肘社養蚕組合(高橋)と比較しても収繭量で大差ない有力な組合の一つでした。(『高橋村誌』より)	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	珍しい繭型の灯籠が一对。かつて地元にあった養蚕組合が奉納したという歴史とともに、地域を物語るオモシロいものとして認定。	19
10	モノ	百善のレンガ塀	百々町	百々町の今井家の煉瓦塀。貯木場が造られた大正時代のものかも。今見ても日本家屋とも似合っていておしゃれです。	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	すぐ横の県道を通ると突如として目に付く赤い煉瓦塀。百々貯木場を造った百善さんのお屋敷といえば、納得。その形状も日本家屋と併存する景観もオモシロい。	20

11	コト	末野原駅周辺の茶園風景	豊栄町	トヨタ自動車本社のある三河豊田駅から一駅という立地で住宅街化が進む地域ながら、昔ながらの茶園風景が守られています。	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	3代連続で農林水産大臣賞を受賞する高品質なお茶づくりを続け、トヨタ自動車本社を眺められる市街地に近い場所に茶畑の景観を形成していることは、この土地の開拓の歴史(昭和8年県の開拓事業による。不良土と呼ばれた土地を開拓)までさかのぼっても、石川さんが取り組んでいる有機農法についてでも、とよたのオモシロいところとして自慢できる。なお、末野原の茶園では高品質の茶葉生産、下山の茶園では有機農法の茶葉生産を行っている。	23
12	コト	トヨタロックフェスティバル	千石町	昨期台風で払い戻しなどで大きな損害があったトヨロックが、クラウドファンディングで見事復活し、さらに盛大に豊田を盛り上げるイベントになった。すでに有名なイベントではあるけれど、とよたにこれだけの質の高い催事があることを誇りに思う。	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	既に有名で世間遺産に認定しなくてもいいイベントながら、市民主催でこれだけの質の高い催しをやってしまうコトをとよたとして誇りにしたいため、あえて世間遺産に認定	26
13	ヒト	狩人&料理人・清水潤子	北小田町	女性ハンターという側面だけでなく、獲った様々な対象を自ら味見し、料理して提供する店を出し、さらに自宅に処理施設を設置して、獣害を避けるために駆除しなければならない命を無駄にしない活動を展開しているところが素晴らしい。	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	イノシシやシカの料理だけではなく、アライグマやカラスなどまでも自ら獲って自らいただくその姿勢と、仲間内の誉め言葉として「変態」と言われることにも嬉々として受け入れるカッコよさを認定。	27
14	モノ	日本最古のコンクリート製電信柱で構成された三角錐	平戸橋町	本多静雄氏が逓信省に勤めていた際にかがかった日本最古のコンクリート製電信柱を移築し、自宅の庭に造った記念碑的な三角錐。中央にはコレクションの石仏が安置されている。茶室もしつらえた庭の中にコンクリート柱を組み合わせた構造物を設置する妙がオモシロ	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	民芸の森の雰囲気とは、緑を囲うコンクリート柱の構造物。ただし、その背後には、本多静雄氏の経歴と日本初の電信柱という組み合わせがあるというオモシロさにより認定。良質な茶室の空間よりも、世間遺産的には民芸の森であればこ	28
15	コト	お須原山の縁結び(縁結び岩・結びの電話)	東萩平町	神祕的なにはある大きな花崗岩の表面にたくさのめりかたでなかに、糸や松葉を通して結ぶと縁が結ばれるという「縁結びの岩」そして、線はほとんどつながっていないけれど心に思う誰かに通じるのが、お須原山の山頂に設置された古い形の公衆電話「結びの電話」	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	お須原山という場所と、自然発生的な縁結びの岩と、設置された結びの電話の存在。古・今、有形・無形に、結ぶということがこの山頂で行われていることがオモシロい。	29
16	コト	小渡の御祭典	小渡町	由来は不明だけれど、地元の方々がお祭りの際に各組で仮装して踊ることを楽しんでいる。	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	旭観光協会に問い合わせたところ、地元の古老の話では「戦前からの催しで、もともと宿など100軒くらいあった小渡の商店街が、戦争などの影響でさみしくなってきたことを盛り返そうと、当時のお祭りの余興団が始めた。」とのこと。祭礼ではなく、商店街の盛り上げの催しであること、派手ではないけれど地元の方々が組ごとに仮装踊りを楽しんでいる様子は小渡の雰囲気と相まって独特。	22
17	コト	大椿の山水の恵み	富岡町大椿	大椿には山から直接水が流れている。その水系を利用した生態系が先祖代々受け継がれ田畑を潤し生活用水として利用されている。大椿の山水の恵みは自然と人の共存によって成り立っている。現在、山水の恵みを楽しむために「大椿の四季を楽しむ会」のメンバーが田畑の手入れをしながら活動している。水系と人間との関係性は山里暮らしの一つのあり方としておもしろいと思う。	・基準評価 : 地域性○、物語性○、オモシロ度○、遺産性○	先祖が作り上げてきた山水の利用の仕組みが現在でも機能して、手をかければ恵みをもたらす、屋敷の庭から田畑、水路など山里の景観を人と自然の相互作用によって形成し、全体として山水を軸とした小さな生態系が表れていることが、生活環境を含めて非常に興味深い。その維持とその結果もたらされる恵みを楽しむ人たちの活動があることがまた、オモシロいところである。ほかにも同様の山水利用の仕組みがあると想像できるが、その一つの典型として認定。	30